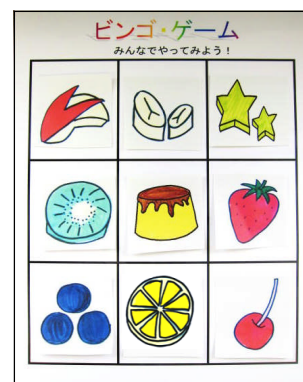


グループで
行う

ビンゴ・ゲーム



★英語を聞いて、出てきた単語の絵カードを裏返します。裏返したカードが縦、横、斜めのどれか一行に並べば上がりです。カードの並べ方をグループの友だちと一緒に考え、聞いたり話したりする楽しさや達成感を味わうことができます。

実施学年	5 年
単元	英語ノート 1 Lesson 6 「外来語を知ろう」
時	第 3 時
使用表現	What do you want? ○○, please. apple, peach, banana, pineapple, kiwi, cherry, lemon, grape, strawberry, melon, ice cream, pudding, jelly, cookie, chocolate
グループの人数	4 人
準備物 (各グループに)	ビンゴ・シート 1 枚 (3 × 3 の 9 マス)、 フルーツやデザート絵カード 1 セット (15 枚)
ルール	<p>①各グループにビンゴ・シート、フルーツやデザートの絵カードを配付する。</p> <p>②児童はグループ内で相談して、15枚のカードの中から、9マスに入れる絵カードを選び、シートに並べる。</p> <p>③すべてのグループが並べ終えた後、学級全体で「What do you want?」と問い、各グループが順番に、自分たちのグループがビンゴに近付くように考えて答える。 例 学級全体 : What do you want? 1 班全員 : Pudding, please.</p> <p>④指導者は、1 班が言った単語の絵カードを黒板にはる。各グループは、言われた単語の絵カードがあれば、裏返す。</p> <p>⑤これを 2 班、3 班と繰り返し、裏返したカードが縦、横、斜めのどれか一行そろえば上がりとなる。ビンゴになったグループが出たら、そこで第 1 回戦は終了する。ビンゴになったグループに、1 ポイント与える。</p> <p>⑥第 2 回戦は、「先生の好きなものでビンゴになるように相談して絵カードを置こう」と指示し、問いに対し指導者が答えながら同様にゲームを進める。 例 学級全体 : What do you want? 指導者 : Strawberry, please.</p>

ポイント！

「What do you want?」、
「Pudding, please.」の
会話は、チャンツのリズ
ムで言うとゲームが盛り
上がります。

ポイント！

絵カードを並べる条件を
付けることで、グルー
プ内のコミュニケーション
が更に高まります。

グループで
行う

パフェ作り



★それぞれが自分の欲しいものを伝えて、オリジナル・フルーツ・パフェを作ります。グループの中で、話す相手を変えながら会話することができるので、発話回数を増やすことができます。

実施学年	5 年
単元	英語ノート 1 Lesson 6 「外来語を知ろう」
時	第 3 時
使用表現	What do you want? ○○, please. Here you are. Thank you. apple, peach, banana, pineapple, kiwi, cherry, lemon, grape, strawberry, melon, ice cream, pudding, jelly, cookie, chocolate
グループの人数	4 人
準備物 (各グループに)	パフェ・シート（器） 4 枚、フルーツやデザートの絵カード 1 人 6 枚
ルール	<p>①各児童にパフェ・シート 1 枚と、組合せが異なるフルーツやデザートの絵カードを 1 人 6 枚ずつ配付する。</p> <p>②自分の机の上に絵カード 6 枚を広げさせ、自分の絵カードとグループの友だちの持っている絵カードを確認させる。</p> <p>③欲しいものを伝える順番を、「What do you want?」と言いながら 4 人でジャンケンをして決める。</p> <p>④ジャンケンで 1 番に勝った児童は、他の 3 人が持つ絵カードの中から自分が欲しいものを選び、例えば、「Pudding, please.」と言う。</p> <p>⑤その絵カードを持っている児童は、「Here you are.」と言いながら絵カードを渡す。もらった児童は「Thank you.」と言い、受け取った後、自分のパフェ・シートの上に乗せる。</p> <p>⑥ 2 番目、3 番目、4 番目に勝った児童も同様に行う。</p> <p>⑦ 1 人 1 枚ずつ絵カードを獲得したら、再びジャンケンをして、机の上の絵カードが無くなるまで繰り返し行う。</p> <p>⑧各自がレイアウトを考えて絵カードをパフェ・シートにのりではり、オリジナル・フルーツ・パフェを完成する。</p>

ポイント！

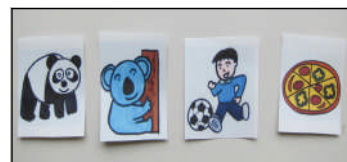
それぞれが持っている絵カードが異なることで、欲しいものを伝える意欲が高まります。

ポイント！

ジャンケンの掛け声を、チャンツのリズムを生かした「What do you want?」にしてみましょう。

グループで
行う

メモリー・ゲーム



★指導者の言った単語を覚え、その順にカードを並べるゲームです。グループの友だちと協力して聞くことで、支え合いの気持ちが高まり、個人の聞く意欲を高めることができます。

実施学年	6 年
単元	英語ノート 2 Lesson 6 「行ってみたい国を紹介しよう」
時	第 2 時
使用表現	I like ○○. kimchi, panda, pizza, castle, pyramid, koala, kangaroo, soccer, baseball, hamburger
グループの人数	4 人
準備物 (各グループに)	国の特徴を表す（食べ物、動物、名所等）絵カード 1 セット（10枚）
ルール	<p>①各グループに絵カードを配付する。</p> <p>②指導者が言う単語の順序を覚えるゲームであることを説明した後、10枚の絵カードから単語を 3 つ選んで言う。児童は指導者の後に 1 単語ずつ繰り返して言う。（この間はカードには触らないように指示する。）</p> <p>③指導者が 3 つの単語を言い終わり、「Go!」と言ったら、グループの友だちと一緒に協力して絵カードを順に並べる。 例 Koala, pizza, soccer. Go!</p> <p>④各グループが並べ終わった後、指導者と一緒に全員で単語を並べた順に言い、答えを確認する。確認する際は、その単語の絵カードを黒板にはる。 例 No.1 Koala. No2. Pizza. No.3 Soccer.</p> <p>⑤ 2 回目以降は、単語数を増やしたり、言う速さを速くしたり、単語ではなく文章で言ったりする。 例 I like panda. I like koala. I like soccer. I like pizza. Go!</p>

ポイント！

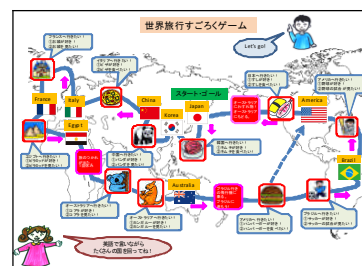
一人で覚えるのは難しい課題でも、グループで行うことで達成感が得られる活動になります。

ポイント！



ただ単語を聞くだけのゲームにせず、児童が単語を言う機会もつくりましょう。

グループで
行う

世界旅行 すごろくゲーム



★すごろくを楽しみながら、世界の国々やそこでしたいことの表現に慣れ親しみます。気軽に友だちに聞いたり、教えたりできる雰囲気の中で、コマを動かすたびに英語での発話を促すことができます。

実施学年	6 年
単元	英語ノート 2 Lesson 6 「行ってみたい国を紹介しよう」
時	第 2 時・第 3 時
使用表現	第 2 時 I want to go to ○○. I like ○○. 第 3 時 I want to go to ○○. I want to eat ○○. I want to see ○○. ----- Korea, China, Italy, France, Egypt, Australia, Brazil, America, Japan, kimchi, panda, pizza, castle, pyramid, koala, kangaroo, soccer, baseball, hamburger
グループの人数	4 人
準備物 (各グループに)	すごろくシート 1 枚、サイコロ 1 個、コマ人数分、ミニ絵カード 1 セット (10 枚)
ルール	<p>①各グループに、すごろくシート、サイコロ、コマ、ミニ絵カードセットを配付する。児童はジャンケンをしてサイコロを振る順番を決める。</p> <p>②Japan をスタートとし、順番にサイコロを振って出た目の数だけコマを進め、止まった場所に応じて次のようなせりふを言う。 【国旗の絵に止まったとき】 その国の名前を英語で言う。 例  「China!」</p> <p>【国の特徴を表す絵に止まったとき】 絵の横に書いてあるせりふを英語で言ってから、その国の国旗の所までコマを進める。 例  イタリアへ行きたい！ ①ピザが好き！ ②ピザを食べたい！ 第 2 時 「I want to go to Italy. I like pizza.」 第 3 時 「I want to go to Italy. I want to eat pizza.」 ↓ イタリアの国旗の所までコマを動かす。「Italy!」</p> <p>③グループの中で互いにせりふを聞き合い、言えていたらグループ内の児童がミニ絵カードを渡す。</p> <p>④グループの中で誰かがJapanにゴールしたら、そこでゲームは終了する。「早かったで賞」(一番にゴールした人)と「たくさん観光したで賞」(絵カードを一番多く集めた人)を確認する。</p>

ポイント！

第 2 時と第 3 時で英語のせりふを変え、表現に段階的慣れるようにしましょう。

ポイント！

気持ちのよいコミュニケーションになるように、聞いたり、話したりするときの態度を意識させましょう。